

標 題	浜田市旭町梨生産組合で第2回勉強会を開催しました！
-----	---------------------------

(ダイジェスト)

これまで生産組合としての活動がなかった旭町梨生産組合で、今年度の取り組みとして初めて「勉強会」を開催することとしました。

第1回の「実証ほ見学」に続き、第2回は視察研修として、島根県農業技術センターで梨栽培ほ場の視察と試験内容の説明を受けました。

旭町梨生産組合は、3法人与6戸の生産者で構成され、浜田市旭町山ノ内団地で梨の栽培に取り組んでいます。品種は、幸水・豊水を中心とした赤梨を栽培しており、平成元年から主に広島市等に出荷されてきました。

昨年度、改植事業の説明会の場で生産者から、「生産組合としての活動がない」「外部からの情報が入ってこない」といった意見を受けて、「勉強会」を年3回開催することを今年度の農業改良普及指導計画に位置づけ、組合活動を支援することとしました。第1回の「実証ほ見学」を6月27日に実施しましたが、このたび第2回を10月8日に、島根県農業技術センター栽培研究部果樹科ほ場で開催しました。

当日は、2経営体の6名と関係機関（浜田市、JAいわみ中央地区本部）が出席し、梨栽培ほ場で担当研究員から試験内容や新品種の説明を受けました。

当組合では、来年度以降ジョイント仕立てでの改植を予定しており、大苗育苗ほ場の見学・説明では、活発な意見交換が行われ、有意義な視察研修となりました。

視察研修後のアンケート調査では、「実際に現地で樹を見ながらだったので分かりやすかった」「大苗の育苗方法や運搬方法が参考になった」などの感想が寄せられました。

第3回は、冬期座談会として新技術等の紹介を計画しており、関係機関と連携して生産者の支援を継続して行っています。



【梨ジョイント仕立てほ場見学の様子】



【大苗育苗ほ場】